# るつ記記念基金の歩み

| 【 年 月 】 | 【 主 な 出 来 事 】 |
|---|---|
| 1983年 4月 | 藤崎るつ記さん、フィリピンにて召天 |
| 1983年 11月 | 日立教会臨時総会にて「るつ記記念基金」創設 |
| 1984年 4月 | 「るっちゃんの旅立ち」刊行 |
| 1984年 6月 | 第1回奨学生ジュリエット採用 |
| 1984年 12月 | 「るつ記記念基金だより」(第1号)発行 |
| 1985年 4月 | 英語版「るっちゃんの旅立ち」刊行 |
| 1990年 4月 | ジュリエットを日本へ招へい |
| 1991年 1月 | 第1回フィリピン訪問(11名) |
| 1991年 6月 | 映画「るっちゃんの旅立ち」完成 |
| 1992年 10月 | 映画「るっちゃんの旅立ち(英語版)」完成、フィリピン国内にて試写会 |
| 1992年 11月 | (財)ソロプチミスト日本財団より表彰される |
| 1993年 9月 | ロナルド及びエデュアルドを日本へ招へい |
| 2004年 11月 | 第2回フィリピン訪問(5名) |
| 2005年 8月 | アン来日(カトリック東京国際センター赴任、～2010年12月) |
| 2006年 6月 | シリマン大学神学生への支援開始 |
| 2011年 8月 | 第3回フィリピン訪問(9名) |
| 2013年 8月 | シリマン大学神学部主催「第52回教会ワーカー会議」に招待を受け感謝状をいただく |
| 2013年 11月 | 基金創設30周年記念集会開催 |
| 2014年 11月 | レアを日本へ招へい |
| 2017年 1月 | 現地センタ職員のメイ来日し日立教会で交流 |
| 2018年 1月 | フィンランド在住のレジーナ来日し成田空港で交流、その後フィリピンにて弁護士活動開始 |
| 2020年 3月 | 支援奨学生累計137名、募金累計6,838口 5,947万円、奨学金累計2,584万円 |

友のために自分の命を捨てること、
これ以上に大きな愛はない。
(新約聖書 ヨハネによる福音書15:13)

# 募金協力のお願い

皆さまからいただいた尊い募金は、フィリピンの青年たちへの奨学金として提供されます。

2019年度は一人当たり年間10万円を18名に贈呈しました。

チャイルド・ファンド・ジャパンのフィリピン現地センターでは、貧しさの中で暮らす子供たちの健やかな成長を支援するために、教育や保健・栄養など一人ひとりの必要に応じたプログラムを行っています。また、子どもの権利や児童労働防止をはじめとする特定の開発課題に取り組むなど、多様な活動が進められています。そして、シリマン大学神学部では、圧倒的多数の貧しい人々に仕える牧師を育てています。

お陰様で、基金は創設以来順調な歩みをしてまいりました。夢と高い志を持つフィリピンの青年たちのために、また貧困の緩和のため、そしてその国の未来のために、できるだけ多くの若者の支援を継続したいと願ってます。

募金を通して皆さまのご支援をお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行の郵便振替口座は下記のとおりです。

**〔ゆうちょ銀行 郵便振替〕**
- 口座番号: 00300−9−15365
- 口 座 名: 日本キリスト教団日立教会 るつ記記念基金

お問い合わせは下記にお願いします。


日本キリスト教団日立教会
るつ記記念基金委員会
〒317-0064 茨城県日立市神峰町4-14-7
TEL 0294-21-4565 FAX 0294-23-3367
http://hitachi-church.justhpbs.jp/rfmf.html


〔2020.10.5〕 ©Hitachi Church, UCCJ

RUTSUKI FUJISAKI MEMORIAL FUND

# るつ記記念基金

RFMF

ルソン島ボトランの海でおぼれかけた2人のフィリピンの友を助けようとして自らは命を失った藤崎るつ記さん、24歳10か月の若さでした。

「るつ記記念基金」は、アジアの貧しい人々と共にありたいと願い、彼らの役に立ちたいという彼女の夢を受け継いで日立教会が設立した基金です。貧しさのために専門教育を受けられずにいるフィリピンの青年たちへの奨学基金として用いられています。

ボトランの海岸

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。
(新約聖書 ヨハネによる福音書12:24)

# こんにちは！
# るつ記記念基金です

るっちゃん

藤崎るつ記さん、親しみを込めてみんなから「るっちゃん」と呼ばれていました。

るっちゃんは、フィリピン・ルソン島ボトランの海で、おぼれかけた２人のフィリピンの友を助けようとして、自らの命を失いました。友のために捧げた２４才の短い生涯でした。

るっちゃんは、1958年6月11日、藤崎信牧師・一枝夫妻の長女として茨城県日立市に生まれ、父藤崎信牧師の牧する日立教会と共に成長しました。1975年桜美林高等学校入学、1977年相模原教会にて洗礼を受け、翌年、日本ルーテル神学大学に入学しました。在学中の1979年2月にフィリピンに渡り、基督教児童福祉会・国際精神里親運動部が主催したワークキャンプに参加し、さらに1981年6月には、インド、バングラディシュ等で医療救護活動ボランティアとして働きました。

その後、るっちゃんはアジアの国々に手をさしのべたい、貧しい人々の中で役に立ちたいという希望を実現するために、1982年8月再びフィリピンへ渡ります。そして同年11月からフィリピン大学の「社会事業と地域開発研究所」での学びや実習をはじめます。しかし、翌1983年4月2日、ボトランの海岸で行われたボランティア仲間等との交流会で悲劇が起こります。

「るつ記記念基金」は、このるっちゃんの信仰を記念するとともに、アジアの国々における社会福祉活動を目指した彼女の夢を受け継ぐことを目的として1983年11月に日本キリスト教団日立教会が創設、フィリピンの貧しい青年たちへの奨学金基金として用いられています。

# るっちゃんの24歳10ヵ月

| | |
|---|---|
| ・1958年6月11日 | 藤崎信(日本キリスト教団日立教会牧師)・一枝の長女として茨城県日立市に生まれる |
| ・1971年3月 | 日立市立・宮田小学校卒業 |
| ・1974年3月 | 日立市立・駒王中学校卒業 |
| ・1977年12月25日 | 日本キリスト教団相模原教会で洗礼を受ける |
| ・1978年3月 | 桜美林高校卒業 |
| ・1981年6月 | インド・バングラデシュ等でボランティア活動 |
| ・1982年3月 | 日本ルーテル神学大学・社会福祉学科卒業 |
| ・1982年8月 | フィリピン大学へ留学するためフィリピンへ |
| ・1983年4月2日 | フィリピン・ルソン島ボトランにて死去 |

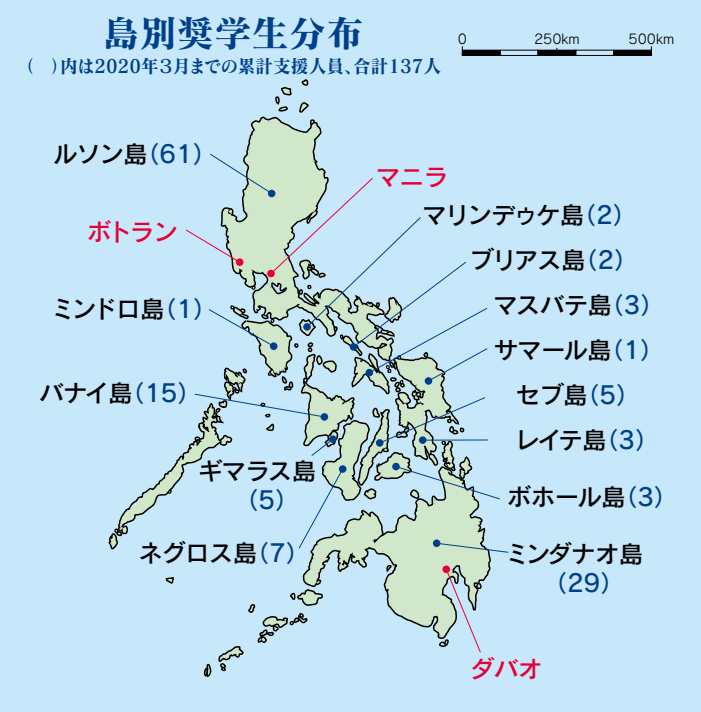
皆様から捧げられた募金は日立教会が運営管理し、NPO法人チャイルド・ファンド・ジャパン*1)および日本聖書神学校*2)を通して、貧しさのために専門教育を受けられずにいるフィリピンの青年達のための奨学金として用いられています。

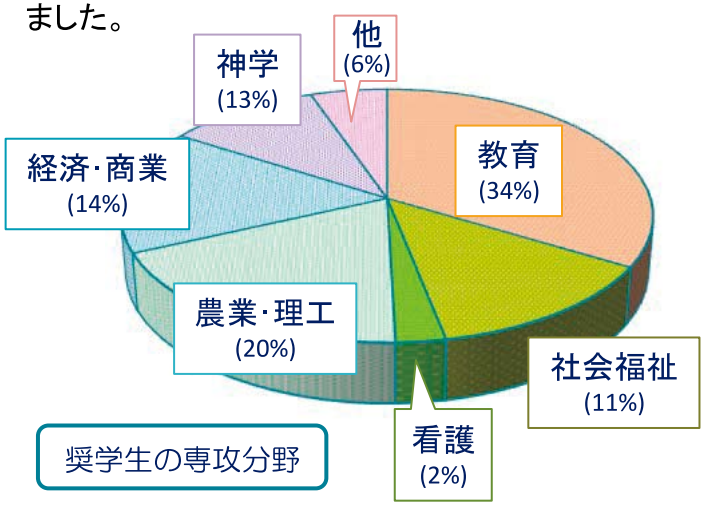
**貧困を緩和するためには教育が必要です。そして、そのためには、私たちが関心を持つことがまず必要なのです。**

*1) : 特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン(ChildFund Japan)は、1975年より、アジア を中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動を支援しています。

*2): 日本聖書神学校を通してシリマン大学の神学生を支援しています。

# 奨学生の所在地




# 奨学生数の状況

奨学生は、1983年の基金創設当初の1人から支援を開始し、2020年3月には累計137人になりました。